



2020年3月期 決算説明資料

株式会社T&K TOKA

T&K TOKA CO., LTD.

2020年7月22日

2020年3月期の実績

▶ 連結損益計算書（百万円）

	18.3期	19.3期	20.3期	増減額	増減率
売上高	47,942	49,638	48,217	▲ 1,420	▲ 2.9 %
売上原価	38,528	40,825	39,410	▲ 1,414	▲ 3.5 %
	(80.4 %)	(82.2 %)	(81.7 %)	(▲ 0.5 %)	
売上総利益	9,414	8,812	8,806	▲ 6	▲ 0.1 %
	(19.6 %)	(17.8 %)	(18.3 %)	(0.5 %)	
販管費・一般管理費	7,503	8,444	8,260	▲ 183	▲ 2.2 %
	(15.7 %)	(17.0 %)	(17.1 %)	(0.1 %)	
営業利益	1,911	368	546	177	48.3 %
	(4.0 %)	(0.7 %)	(1.1 %)	(0.4 %)	
経常利益	2,659	1,095	1,293	197	18.1 %
	(5.5 %)	(2.2 %)	(2.7 %)	(0.5 %)	
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,047	627	158	▲ 469	▲ 74.8 %
	(4.3 %)	(1.3 %)	(0.3 %)	(▲ 1.0 %)	

▶ 連結製品別売上高（百万円）

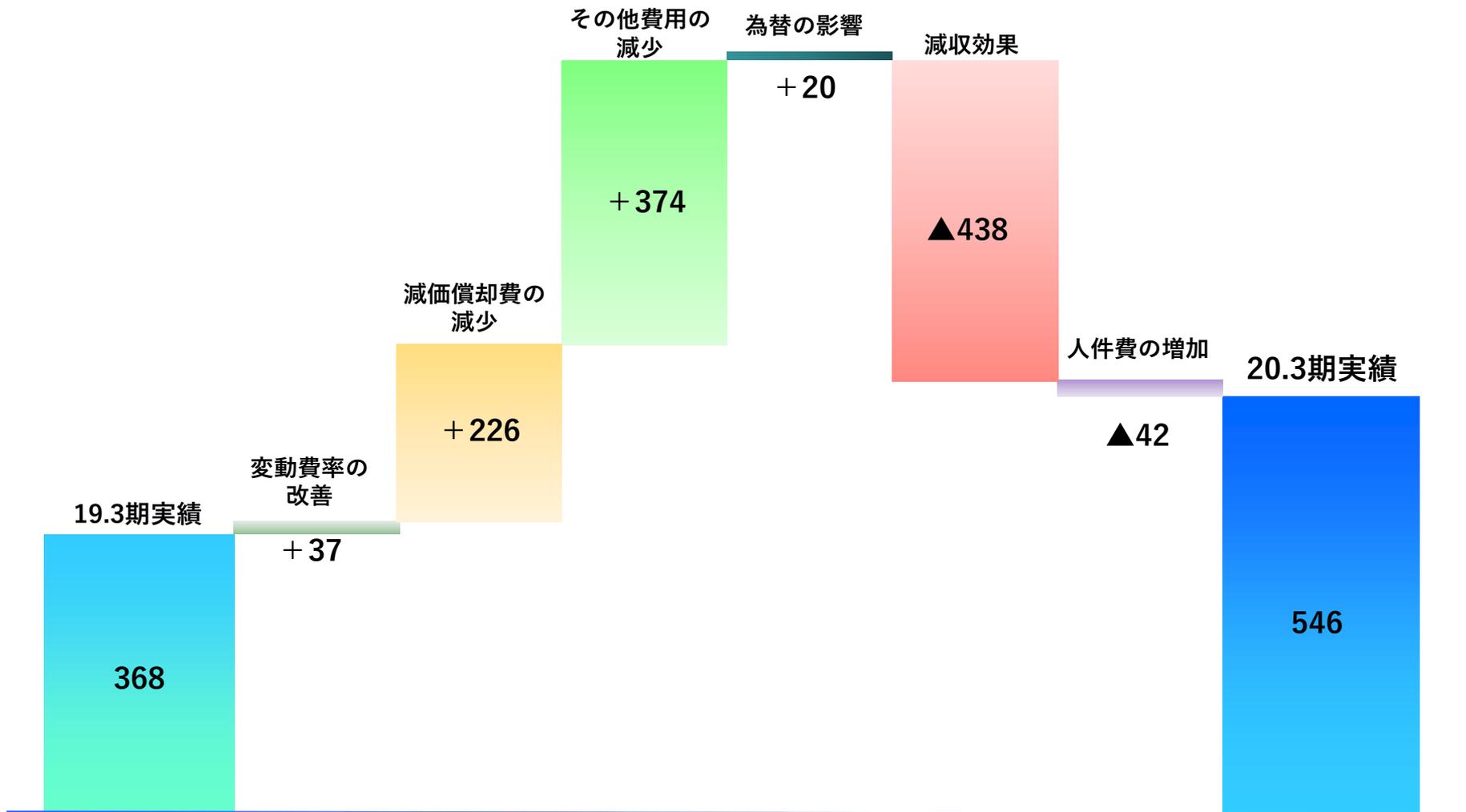
	18.3期	19.3期	20.3期	増減額	増減率
平版インキ	10,924	12,164	11,345	▲ 818	▲ 6.7 %
UVインキ	20,219	20,938	20,564	▲ 373	▲ 1.8 %
その他インキ	7,364	6,914	7,426	512	7.4 %
その他	3,671	3,663	3,356	▲ 307	▲ 8.4 %
製品計	42,180	43,680	42,694	▲ 986	▲ 2.3 %
商品	5,761	5,957	5,523	▲ 434	▲ 7.3 %
総計	47,942	49,638	48,217	▲ 1,420	▲ 2.9 %

2020年3月期の実績と成果

2020年3月期の実績

- 売上高 . . . 482億17百万円 ▲ 2.9 %
 - 平版インキ . . . ▲ 8億18百万円 ▲ 6.7 %
 - UVインキ . . . ▲ 3億73百万円 ▲ 1.8 %
 - 一般UVインキ . . . + 5億64百万円 + 3.2 %
 - 特殊UVインキ . . . ▲ 9億38百万円 ▲ 27.1 %
- 営業利益 . . . 5億46百万円 + 48.3 %
経費節減に努めたことによる
- 経常利益 . . . 12億93百万円 + 18.1 %
持分法による投資利益 6億95百万円 (19.3期 5億93百万円)
- 親会社株主に帰属する当期純利益 . . . 1億58百万円 ▲ 74.8 %
 - 関係会社株式売却益 67百万円
 - 減損損失 8億31百万円

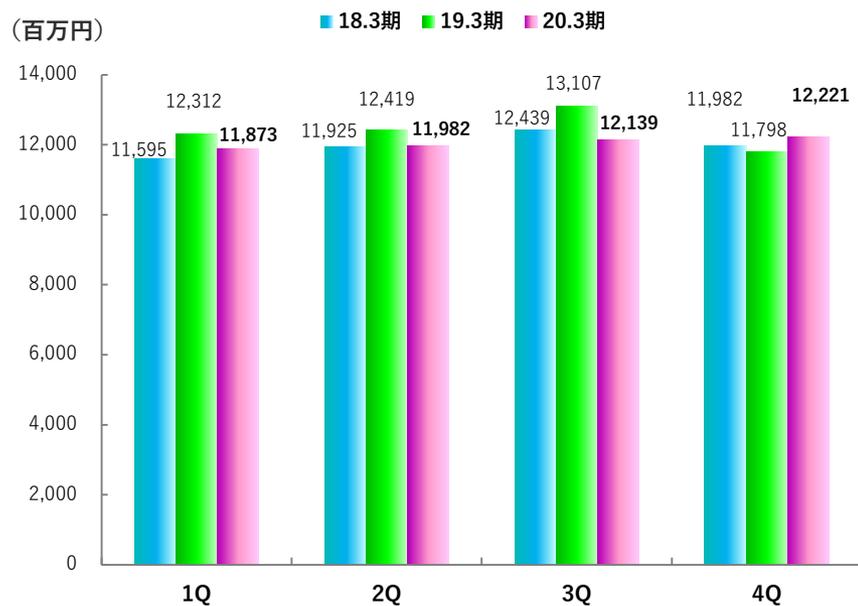
2020年3月期の営業利益の増減分析



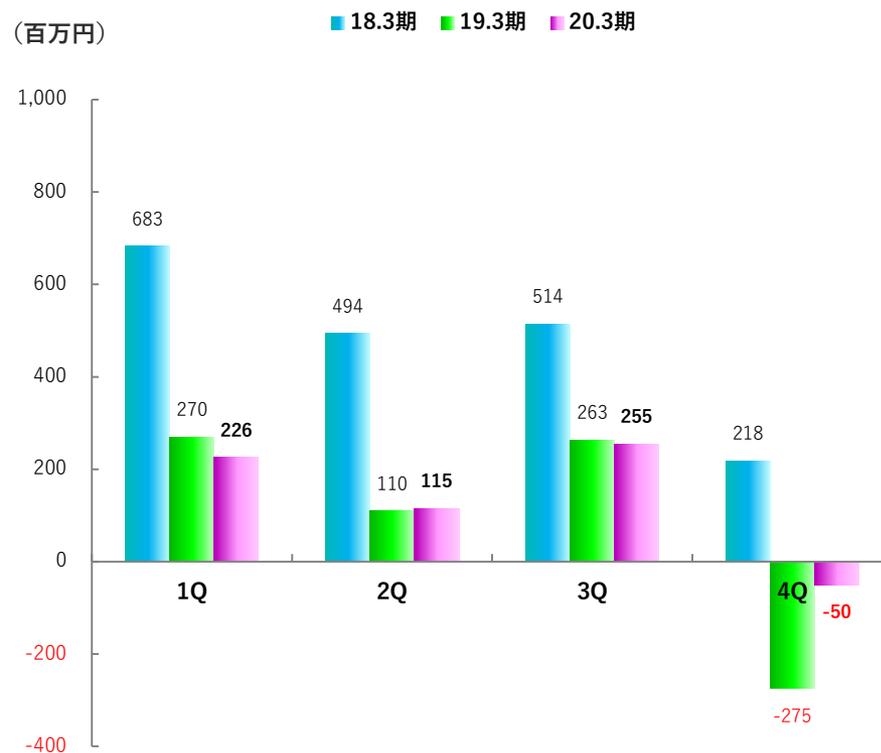
(単位：百万円)

四半期ごとの業績推移

【売上高の推移】



【営業利益の推移】

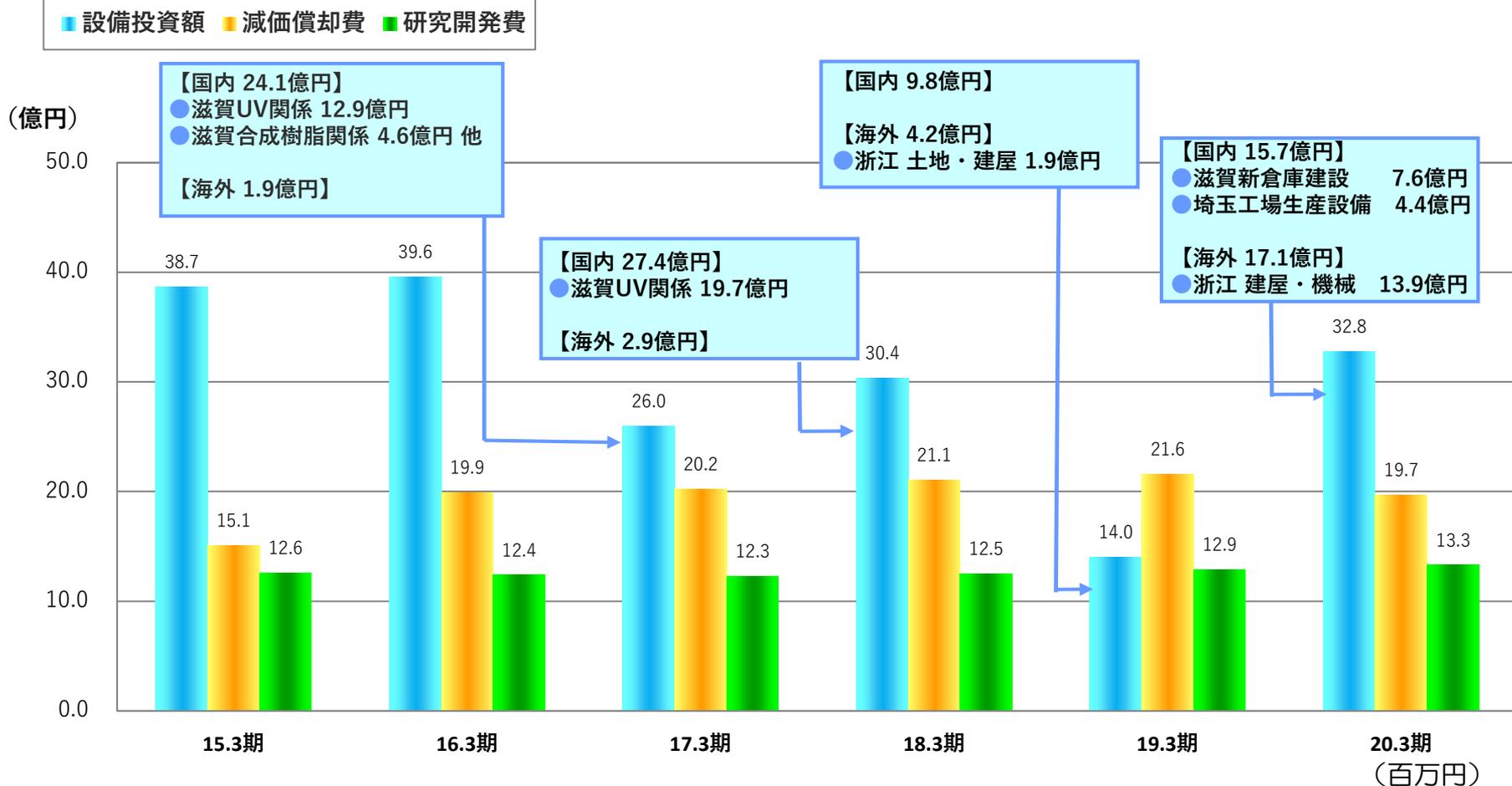


連結貸借対照表、キャッシュフロー計算書

貸借対照表	18.3期	19.3期	20.3期	増減額	増減率	備考
流動資産	31,741	31,483	33,814	2,331	7.4 %	
現金及び預金	7,895	7,969	9,537	1,567	19.7 %	
売上債権	15,996	15,698	15,694	▲ 3	▲ 0.0 %	
棚卸資産	7,191	7,557	8,027	469	6.2 %	
その他	658	257	556	298	115.7 %	
固定資産	34,934	34,405	34,135	▲ 270	▲ 0.8 %	
有形固定資産	23,118	22,668	24,004	1,336	5.9 %	
無形固定資産	1,640	1,253	353	▲ 899	▲ 71.8 %	
投資その他の資産	10,175	10,483	9,777	▲ 706	▲ 6.7 %	
資産合計	66,675	65,888	67,950	2,061	3.1 %	
流動負債	16,356	17,399	18,991	1,591	9.1 %	
仕入債務	11,001	10,935	11,333	397	3.6 %	
短期借入金	2,751	3,511	5,425	1,914	54.5 %	
1年内償還の社債	8	-	-	-	- %	
固定負債	4,897	4,196	6,001	1,805	43.0 %	
長期借入金	2,986	2,183	4,038	1,855	85.0 %	
退職給付に係る負債	655	676	707	31	4.6 %	
役員退職慰労引当金	20	23	26	3	13.2 %	
負債合計	21,254	21,595	24,993	3,397	15.7 %	
純資産合計	45,420	44,293	42,957	▲ 1,335	▲ 3.0 %	
負債・純資産合計	66,675	65,888	67,950	2,061	3.1 %	

キャッシュフロー	18.3期	19.3期	20.3期	増減額	増減率	備考
営業CF	3,541	3,010	2,527	▲ 482	▲ 16.0 %	
投資CF	▲ 4,853	▲ 1,458	▲ 3,484	▲ 2,026	138.9 %	
財務CF	1,501	▲ 1,114	2,707	3,822	- %	
CF期末残高	4,601	4,857	6,534	1,676	34.5 %	

設備投資、減価償却費、研究開発費の推移



	15.3期	16.3期	17.3期	18.3期	19.3期	20.3期
設備投資	3,873	3,966	2,604	3,038	1,406	3,287
減価償却費	1,516	1,998	2,022	2,106	2,164	1,977
研究開発費	1,265	1,242	1,238	1,251	1,292	1,330

2021年3月期の重点課題

1) 競争力ある製品の拡販

- ・ 枚葉インキ・・・パウダーレスインキ「キレイナ」の積極的展開
- ・ UVインキ・・・「UV CORE」シリーズによる省電力UVシェア拡大
「UV I J」の拡販

2) 市場ニーズに適した製品開発

- ・ 高付加価値製品・・・ICチップ・半導体向け改良型硬化剤
炭素繊維複合材向け材料 Tenacis(テナシス) 等
- ・ 環境対応製品・・・バイオマスUVインキ「UV BMシリーズ」、
「水性 I J」(軟包装用)の拡充など

3) 市場の開拓

- ・ Tenacisは、現在予定されている展示会へ積極的に出展し、あらゆる業界へアプローチを図り認知度を向上させる。
- ・ Van Son社の販売先約70カ国への販路を活用し、アメリカ・ヨーロッパでのUVインキのシェア拡大。
- ・ 環境関連で現在予定されている展示会へ出展し、全社で取り組んでいる環境対応製品をアピールし、製品をとおして環境改善に貢献する。

※なお、新型コロナウイルスの影響で展示会の開催については流動的です。

中期経営計画の進捗について

重点施策 ①グローバル展開の加速

欧州地域および北米地域における売上高は、2018年3月期 16.9億、2019年3月期 35.2億、2020年3月期 41.0億と増加した一方、その他の地域では競争の激化や需要の伸び悩みへの対応が遅れた地域もあり、売上高は伸長したものの年度目標値の達成には至らず90.2%となった。

重点施策 ②付加価値訴求の強力推進

欧州地域および北米地域において省電力UVインキの販売が大きく伸長するも、日本においてはプロモーション活動が価格改定活動に分散され、年度シェア目標の達成に至らず。

重点施策 ③コスト削減・効率化の追求

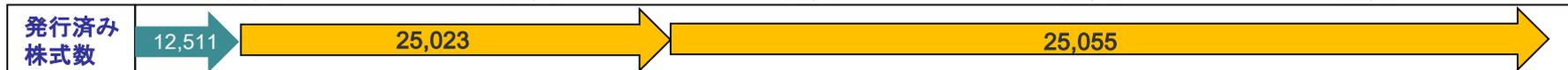
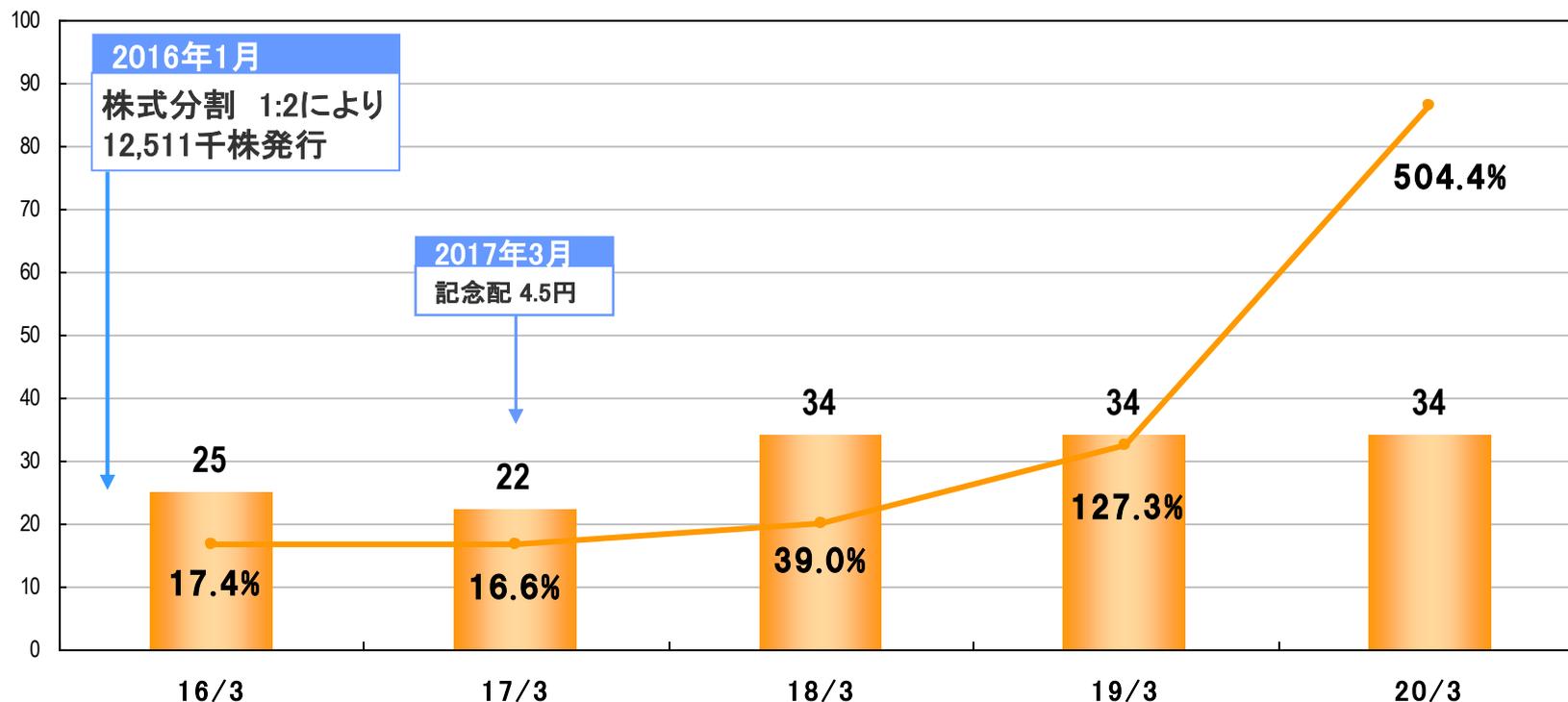
UVインキの生産能率は前年比で改善も、需要低迷の製品群の数量減少の影響をカバーしきれず、全体では年度目標値の達成に至らず。業務コストの削減は、Web-EDIの採用数増加やRPAの導入促進、ストックポイントの統廃合等により、年度目標値を達成。

配当について

将来の事業展開に備えた財務体質の強化を図るとともに、業績に応じて安定的な配当の継続を行っていくことを、配当の基本方針としています。積極的な株主還元を推進し、連結配当性向30%を目安に実施していく予定であります。

1株当たりの配当金・連結配当性向

(円)



業績推移

▶ 連結業績の推移



▶ 製品ごとの連結売上高の推移



▶ 地域ごとの連結売上高の推移

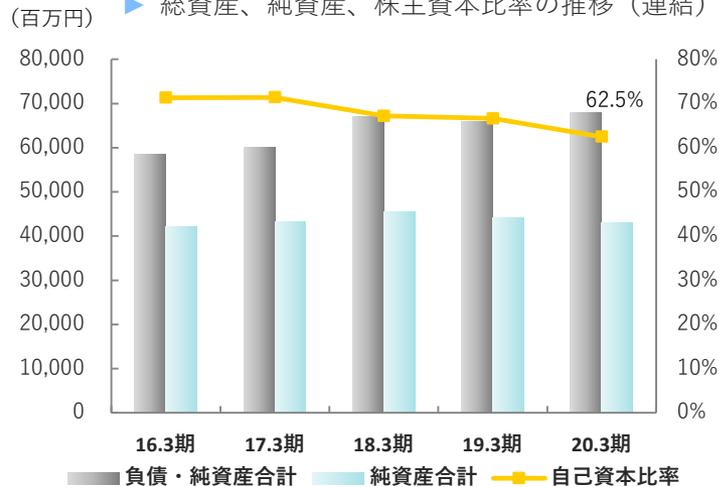


▶ その他地域別の連結売上高の推移

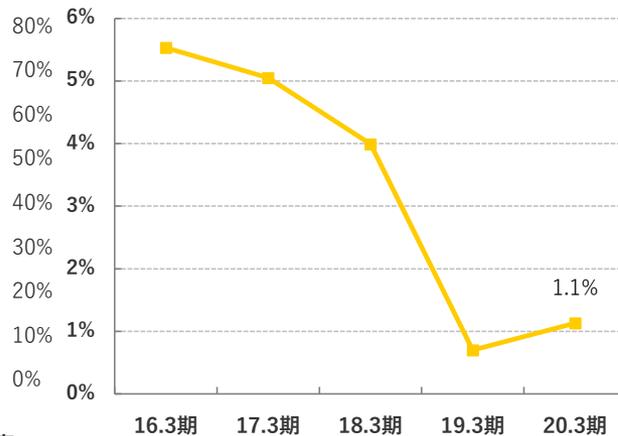


経営指標

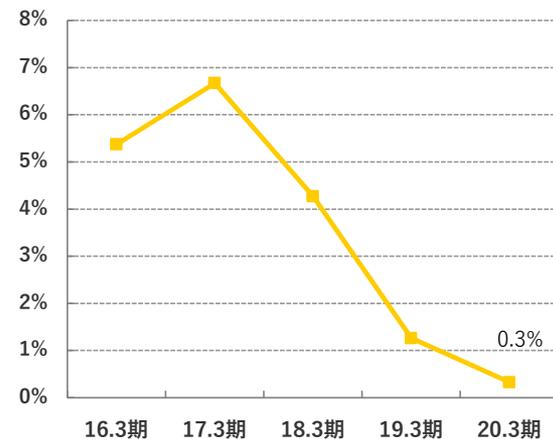
▶ 総資産、純資産、株主資本比率の推移 (連結)



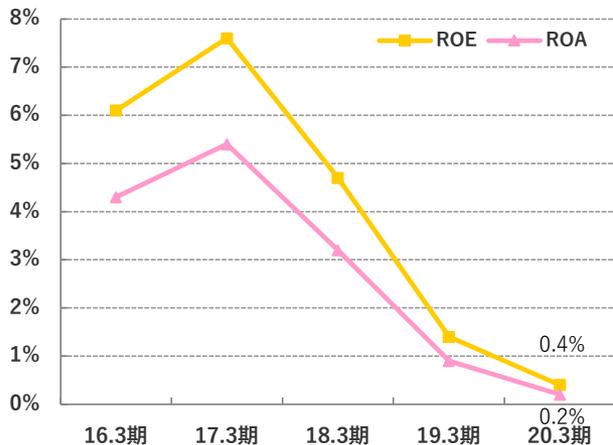
▶ 売上高営業利益率 (連結)



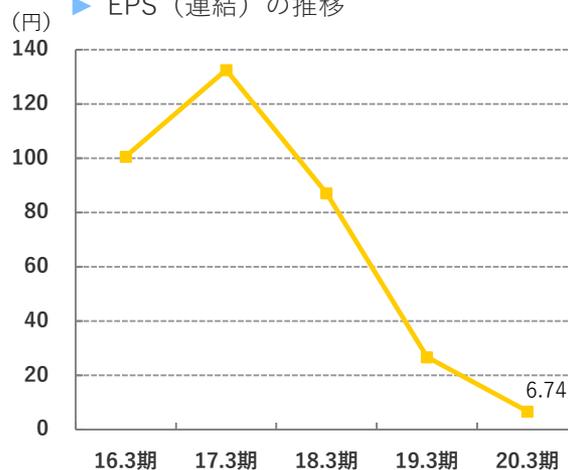
▶ 売上高当期利益率 (連結)



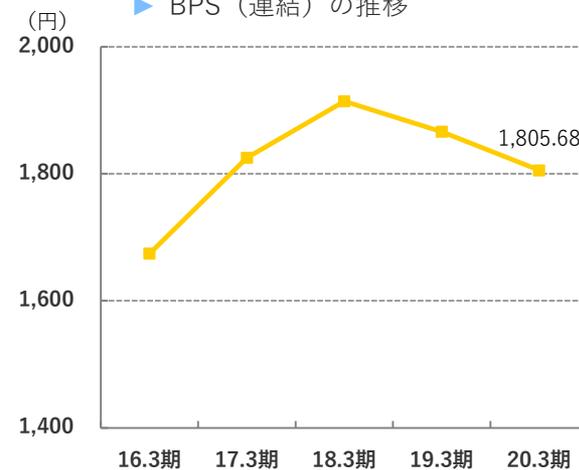
▶ ROE、ROAの推移 (連結)



▶ EPS (連結) の推移



▶ BPS (連結) の推移



※2016年1月に1：2の株式分割を実施。

～企業理念～

Technology & Kindness 技術とまごころ

時代は変わっても、伝えたいモノは変わらない

T&K TOKAは、創業から70年、一貫してインキを専業としてまいりました。「Technology & Kindness」の言葉に表されるように、創業から大切にしてきた、「使いやすくいいものを提供していこう」という「まごころ」は70年経った今も、当社のDNAとして息づいています。これは、100年後も変わらないし、変えてはいけないと強く思っています。

一方で「テクノロジー」。今現在も高い評価をいただいておりますが、次々と変わりゆく時代に対応するためには、よりいっそうの変化が必要だと考えています。

時代は『小ロット多品種生産』が求められています。これはまさしく当社の得意とするところであり、今まで以上にお客様の要望に応えていけるものと確信しております。インキメーカーとして先発ではありませんが、だからこそチャレンジングな姿勢を忘れず、より付加価値の高い製品をご提案させていただきたいと考えています。

このプレゼンテーションには、当社の計画と見通しを反映した将来予想に関する記述を含んでおります。かかる将来予想に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況、新サービスの成否等、不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績はこのプレゼンテーションに記載されている将来予想に関する記述とは大きく異なる場合があることをご承知おきください。

また当社は、このプレゼンテーション後において、かかる将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。

IRの問合せ先
株式会社 T&K TOKA 財務部
Tel. 03-3963-0511
Mail. toka-ir@tk-toka.co.jp

T&K TOKA®